

# 議 会 運 営 委 員 会 理 事 会 記 録

平成 2 9 年 1 月 3 1 日 (火)

杉 並 区 議 会

## 目 次

議会運営委員会理事会の会議記録について .....	3
平成29年度当初予算について .....	3
平成29年度議会費予算について .....	6
専決処分について .....	7

議会運営委員会理事会記録

日 時	平成29年1月31日(火)		午前10時00分～午前10時14分	
場 所	第2委員会室			
出席理事 (7名)	理事 脇坂 たつや	理事 大和田 伸	理事 島田 敏光	理事 増田 裕一
	理事 山田 耕平	理事 そね 文子	理事 松浦 芳子	
欠席理事				
理事以外の 出席議員	議長 井口 かづ子	副議長 川原口 宏之		
出席理事者	副区長 宇賀神 雅彦	副区長 吉田 順之	政策経営部長 白垣 学	総務部長 関谷 隆
	財政課長 齋藤 俊朗	総務課長 都筑 公嗣		
事務局職員	事務局長 北風 進	事務局次長 事務取扱区議 会事務局参事	植田 敏郎	
	議事係長 蓑輪 悦男	庶務係長	本島 健治	
	調査係長 福羅 克巳	議会法務係長	井伊 慶子	
	担当書記 太刀川 修			



**脇坂理事** これより議会運営委員会理事会を開会する。

《議会運営委員会理事会の会議記録について》

**脇坂理事** 初めに、議会運営委員会理事会の会議記録である。

平成29年1月16日の1回分を理事の皆さんにお送りしているが、お送りした内容で承認いただけるか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

**脇坂理事** それでは、承認いただいたので、本日から公開の扱いとする。

《平成29年度当初予算について》

**脇坂理事** それでは、平成29年度当初予算について、理事者からの説明をお願いします。

**副区長（宇賀神）** 本日は、平成29年第1回区議会定例会に提案する案件のうち、平成29年度各会計当初予算案の概要について説明に上がった。

内容については、政策経営部長から説明する。

なお、当初予算以外の案件については、議会運営委員会で説明する予定であるので、よろしくをお願いします。

**政策経営部長** それでは私から、平成29年度の当初予算について、お手元の区政経営計画書に基づき説明する。

まず、予算の基本的な考え方を説明する。計画書の3ページをお開きいただきたい。

政府は、平成29年度の経済見通しにつき、民需を中心とした景気回復が見込まれるとして、実質GDP成長率を1.5%程度、名目GDP成長率を2.5%程度としている。しかし、英国のEU離脱問題や米国大統領選挙の結果の根底に通ずる反グローバリズムなどの影響は、日本経済ひいては区へも及ぶことが確実である。また、米国新大統領の取り組みいかんでは、景気が大幅な下振れに動く可能性も否定できず、その行方は依然先行き不透明な状況にある。

社会の動きに目を向けると、人工知能やIoTなどICT分野での技術革新の進展、女性の就労率の上昇、高齢化の進展等による社会保障関係費の伸びなど、近年、時代の変化は速く、大きくなっている。

このような時代において、必要な行政サービスを安定的、継続的に提供していくためには、常に時代の先を見据え、先手を打って課題にチャレンジしていく姿勢が欠かせない。そこで、基本構想10年ビジョンの後半を迎えるに当たり、平成29年度予算を「時代

の先を見据え、10年ビジョンを加速させる予算」と名づけた。

予算編成に当たっては、昨年、区政を取り巻く環境の変化を踏まえ改定した実行計画並びに協働推進計画及び行財政改革推進計画の取り組みに要する経費を確実に予算に反映させた。また、マイナス金利政策や円高傾向による運用環境の悪化の影響もあり、利子割交付金、配当割交付金などは大幅減を見込んでいるが、こうした厳しい財政状況の中でも、さらなる保育定員の確保や老朽施設の改築改修など、今なすべきことに対しては予算措置を行う一方、必要な経費を精査するとともに、行財政改革推進計画に基づき歳出削減を徹底し、財政の健全性を確保した予算編成を行った。

続いて、4ページだが、予算編成に当たっては、時代の先を見据え、「首都直下地震等に備えた減災・防災対策の推進」「将来にわたるにぎわい創出に向けた環境整備と魅力発信」「豊かなみどりと持続可能な環境を次世代に継承」「超高齢社会の進展を見据えた健康づくりと福祉の充実」「未来を担う子どもたちのための教育・支援の拡充」の5つの視点に特に意を用いて編成したところである。

続いて、この5つの視点別の重点事業の概要を説明する。5ページをごらんいただきたい。

まず、第1の視点「首都直下地震等に備えた減災・防災対策の推進」に関してだが、改正した狭あい道路の拡幅に関する条例に基づき、重点整備路線の拡幅整備、支障物件の除却を進め、狭あい道路の拡幅を加速化する。

また、防災地図アプリ「すぎナビ」の震災後の避難路探索、多言語機能を拡充し、区民の利活用の促進を図る。

そのほか、震災救援所周辺等の不燃化促進、地域における防災力の向上などにも取り組んでいく。

次に、6ページをお開きいただきたい。第2の視点「将来にわたるにぎわい創出に向けた環境整備と魅力発信」に関してである。

移転改修する永福体育館に、東京2020オリンピックにおけるビーチバレーチームの練習会場としての活用も視野に入れ、屋外ビーチコートを整備する。

また、在住・来街外国人に向け、窓口でのタブレット端末を利用した通訳サービスの導入、杉並アニメーションミュージアムの多言語音声ガイドへのフランス語の追加などのサービスを拡充する。

そのほか、戦略的広報の推進、駅周辺まちづくりの推進などにも取り組んでいく。

続いて7ページをごらんいただきたい。第3の視点「豊かなみどりと持続可能な環境を次世代に継承」に関してである。

仮称荻窪四丁目公園、すくすくひろば6カ所の整備など、多様な公園の整備を進めます。また、新たに制度化した認定農業者への支援を開始する。

そのほか、荻外荘の復原整備の具体化に向けた基本計画の策定、街路灯のLED化の推進、自転車通行空間の整備などにも取り組んでいく。

次に、8ページをお開きいただきたい。第4の視点「超高齢社会の進展を見据えた健康づくりと福祉の充実」に関してだが、今後の在宅医療施策に活用するために、専門機関と協力して在宅医療の利用状況分析を実施するなど、在宅医療の充実に向けた取り組みを推進していく。

また、双方向でのコミュニケーションが可能なICT機器を活用し、高齢者の在宅生活支援モデル事業を実施する。

そのほか、特養ホームや重度身体障害者支援施設の開設、高齢者の口腔ケアの充実、女性の健康づくりの推進などにも取り組んでいく。

次に、9ページをごらんいただきたい。第5の視点「未来を担う子どもたちのための教育・支援の拡充」に関してだが、引き続き増加する保育需要を見据え、認可保育所を核に1,000名規模の保育施設の整備を推進する。あわせて、心理専門職等による私立認可保育所等への巡回指導を強化し、保育の質の維持向上を図る。

また、学校教育の分野では、専門事業者等による部活動の指導や、法律問題等への対応力を高めるための弁護士による助言体制の整備など、多様な人材の活用による質の高い教育を推進する。

そのほか、小児救急医療体制の充実、学齢期における発達障害児への相談支援、学校教育環境の整備充実などにも取り組んでいく。

以上、予算の基本的な考え方と主な重点事業について説明した。

次に、10ページをごらんいただきたい。一般会計及び特別会計の予算規模についてである。

一般会計の予算規模は1,780億5,000万円、前年度比3.5%の増。また、特別会計を合わせた全会計では2,973億5,200万円余、前年度比1.4%の増となっている。

なお、特別会計については、被保険者数や保険料率などの基礎数値をもとに編成している。

詳細については259ページ以下に記載しているので、そのほかのページとあわせて後ほどごらんいただきたい。

予算の概要については、改めて各会派に伺い、説明する。

なお、本日午後1時から区長による当初予算の記者会見がある。

私からは以上である。

**脇坂理事** ただいまの説明について、何かあるか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**脇坂理事** なければ、理事者の方は退席いただいて結構である。

《平成29年度議会費予算について》

**脇坂理事** 続いて、平成29年度の議会費について、事務局から説明をお願いします。

**議会事務局次長** お手元資料2をごらんいただきたい。議会費当初予算の概要についてである。

対前年度比100.5%、397万7,000円の増となっている。

増減の大きなものについて説明する。資料の★印のついたところである。

まず1点目、議会及び委員会経費のところ、29年度単年度予算として、高円寺阿波おどり台湾公演の旅費、こちらは議長と随行の局長分で、合わせて約35万8,000円の予算がついている。

続いてその下、会議録印刷単価の増ということで、印刷費の単価増により予算が増になっている。

その下、管理事務費の中の28年度単年度委員会室ワイヤレスマイク設備入替、今年度工事終了しているので、計上されていた420万減ということである。

委員会室の残時間表示については、皆様の意見もあり、再度業者に見積もりを複数とっているが、やはり1,000万円前後の見積もりが出ている。この点に関しては、事務局での検討も進め、残時間表示システムが故障したときにすぐ対応できるように、事務局職員がパソコンを使つての残時間システムをつくり、それを局長室にあるテレビ等で映写するというのを緊急時の対応策として今年度中に準備をする。そこで、その残時間表示システム1,000万円の予算は取り下げをしている。

続いてその下、議員厚生室洋室を会議室に使用するというので、机、椅子予算を計上していたが、ゼロ査定ということである。こちらは、庁舎内にあった古い机を今設置している。また、椅子については、委員会の余っている椅子を使用しているが、非常に限られた人数の収容になるので、今年度予算の残で一番シンプルな会議椅子を購入するという考えでいる。

続いて、議会広報費である。

「広報すぎなみ」が刷新されることにより、「区議会だより」の特に折り込み、また配布方法について、別途「区議会だより」が行うということで、こちらの単価が上がっ

ている。

その下、「声の区議会だより」の単価増である。こちらは契約の金額の増である。

その下、議員用パソコン入替ということである。こちらはICTの検討等があったので、今年度リース期間終了しているものを再リースしてお使いいただいているが、ハード面での不安も抱えているので、来年度入れかえということで、新たに予算を増して計上されている。

一番下の29年度単年度高円寺阿波おどり台湾公演、こちらは局長の随行費の予算である。

私からは以上である。

**脇坂理事** ただいまの説明について何かあるか。

**議長** この阿波おどりの件だが、何人行って、何泊でという詳細はわかるか。予算出ているので。ちょっと教えていただけるか。

**議会事務局次長** まだ具体的な決定した詳細は来ていないが、説明を受けている内容では、3泊4日で、議会からは、説明したように議長と随行、局長を予定しており、理事者については、区長以下4名ほどと記憶している。あと、区民の阿波おどり団の人数はちょっとこちらではまだ把握していない。

**脇坂理事** ほかに何かあるか。——それでは、来年度の議会費については、ただいま説明があったとおりのので、了承願う。

#### 《専決処分について》

**脇坂理事** 続いて、4番、専決処分についてだが、議会の委任による専決処分の指定の見直しの件は、前回の理事会で私からお示した正副委員長案で、おおむね各会派の合意が得られた。しかし、損害賠償などを300万円に引き上げることで、重大な事故などなかなか見えなくなるのではないかという危惧や、専決処分で委任した事項であっても、重要案件は正副議長へ事前報告してもらいたいとの意見などが出ていた。そのため、専決処分の指定の見直しをするに当たり、次の2点を区へ申し入れをしてはかがかと考えている。

まず1点目は、区民や区政に影響の多い重要な案件は、専決処分に限らず、事前に正副議長へ報告し、説明をしていただきたいということ。

2点目は、50万円以下の損害賠償は、これまで1年間分を第1回定例会でまとめて報告をしているが、今後は、自治法第180条1項で委任した事項で専決処分した場合、必ず次の定例会で報告するようにしていただきたいということである。

以上の2点を私から区へ口頭で申し入れをしたいと思うが、何か意見等はあるか。よろしいか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**脇坂理事** それでは、この2点について区へ申し入れをするということで決定する。

なお、専決処分の指定の見直しについては、先日承認いただいた正副委員長案の内容で事務局に議案を作成してもらっている。

本日の議題は以上だが、ほかに何かあるか。

**議会事務局次長** 2月3日金曜日の議運において、本日お配りしている区政経営計画書も使用するので、持参のほどお願いします。

なお、理事の皆さん以外の議員の方々へは、本日中にポスティングをする予定である。

**脇坂理事** それでは、以上で本日の議会運営委員会理事会を閉会する。

(午前10時14分 閉会)